

令和7年度

植木こども園事業報告書

① 職員配置

職員総数 32名

園長1 副園長1 主幹保育教諭2 保育教諭19（内7名非常勤） 保育補助3（非常勤）
 栄養士1 調理員4（内2名非常勤） 事務員等1

② 年間入所児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	178

2号	33	34	36	36	36	37	37	37	37	37	37	37	434
3号	23	21	23	25	25	25	25	25	26	26	26	26	296
合計	56	55	59	61	61	62	62	62	63	63	63	63	730

合計	69	70	74	76	76	77	77	77	78	78	78	78	908
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

③ 指導監査の結果（令和7年度事業に係る一般監査の結果）

（令和7年7月17日 福岡県・直方市）

福岡県・就業規則に年次有給休暇の繰り越規定 令和7年度の学校安全計画の策定

避難災害にかかる避難訓練を月1回以上実施⇒以上改善済み

直方市・保育士証の氏名変更後の写しの保管（手続き中） 職員配置等現状調査の正しい内容
 の記載 保育計画の承認の確認 保護者からの連絡の未対応のチェックの確認

衛生マニュアルの確認⇒以上改善済み

④ 要望・苦情等に関する報告

令和7年度の苦情解決の状況について

苦情、第三者委員への申し立てはなかった。

⑤ 基本方針と保育方針

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿って、創造保育の理念に基づいた保育実践を行っている

⑥ 年間行事

月	行事予定	備考
4月	入園式、進級式、 内科・歯科検診、尿検査、 チューリップ祭行き、	
5月	到津動物村遠足（4・5才児） 給食試食会・遊びの会	
6月	木下大サーカス 乗馬クラブ 個人懇談会	
7月	星まつり（七夕）、 プール開き	
8月	水中サーカス（プールあそび）	

9月	女性消防団 観劇（マジックショー） きこりさんの一泊キャンプ（5才児）	きこりさん＝5才児
10月	植木天満宮神幸祭 秋のおまつり運動会 尿検査 到津動物村行き（4才児） 幼児教育体験事業（ユメニティのおがた 5才児）	
11月	植木校区文化祭（4・5才児） 牛舎見学（4才児） 行者杉見学（5才児） チューリップ球根植え（4・5才児） 五月園慰問	植木校区文化祭（園・小 中学校と地域の連携イ ベント） 行者杉＝東峰村
12月	多賀公園（相撲部屋→公園） 個人面談 クリスマス会 餅つき	電車で直方駅へ
1月	開運うどん作り 卒園記念品作り（動物の焼き物） ミニサーカスショー（4才児）	
2月	節分（豆まき） ミニサーカスショー 生活発表会	
3月	卒園式 入園説明会 交通安全教室 お別れ遠足、プラネタリウム行き（5才児） 修了式 お別れ会	スライド会＝保護者む け写真公開

毎月：身体測定 避難消火訓練 誕生会 お花生け（4・5才児）
学童お花生け お弁当の日（4月～6月、11月～3月）

⑦ 職員研修報告書

	園内研修	園外研修
4月	・創造保育理念研修（各クラス別）	・安全衛生推進要請講習 ・保育所等運営管理研修
5月	・合同理念研修（浄蓮寺保育園と）	・校区防災会議
6月	・各クラスの様子や気になる子 ・救命救急講習（2回、消防職員） ・巡回相談（4才児）	・熱中症予防指導員研修（ももちパレス） ・乳児保育研修 ・こどもの食と栄養
7月	・防災研修（役所栗田さん） ・水害研修（地元藤田さん）	・第1回保育士研修会 ・九州保育さん団体研究大会
8月	・お馬さんになって遊ぼう（4才児）	・福岡県こども園初任者研修 ・フードフェア ・福岡県認定こども園研修（2回） ・第1回筑豊地方保育士研修会

9 月	・ 女性消防団と消防訓練	・ 障害児保育対応力向上研修 ・ 業務用食品展示フェア ・ 福岡県認定こども園研修 ・ 第 2 回筑豊地方保育士研修会 ・ 防災管理者研修
1 0 月	・ 発達支援研修（1 才児）	・ 感染症予防対策研修 ・ 令和 7 年度主任保育士研修会 ・ 食中毒予防のための危機管理とリスクコミュニケーション ・ 食中毒予防講習 ・ 一般教養研修会 ・ 第 3 回保育士研修会
1 1 月	・ 救命救急講習（てんかんについて）	・ 施設内における危機管理について ・ 全国教育・保育研修会 ・ 第 4 回筑豊地方保育士会
2 月	・ 発達支援研修（1 才児）	・ 第 4 回保育士会研修 ・ 保育所（園）職員総合研修大会 ・ ワンヘルス研修
3 月	・ 交通安全教室	

⑧ 安全管理について

- ・ 消火・避難訓練 毎月 1 回実施
- ・ 水害・地震・不審者防犯訓練 年 1 回ずつ実施、
*今年度は地域の方をお呼びして水害体験と対策の話を聞く。
*役所の担当や水害経験者の話を聞いて、訓練時の参考にして実施した。
- ・ 遊具チェック 毎週実施
- ・ 乳幼児室内遊具 週末又は適時に、消毒または洗濯
- ・ アレルギー対応の園児用食器・トレイは、区別して、また各クラスにアレルギー園児の表を張り、全職員が確認できるようにしている。
- ・ アレルギー対応のため、安全に配慮し、クラス全体で同じ除去食を取り入れている。
- ・ 午睡チェックは、0 才児 5 分 1 才児 1 0 分 2 才児 1 5 分おきに必ず目視する。

⑨ 園児及び職員の健康診断

【園児】

- ・ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師を設置し、健康や保健管理等において連携をとる。
- ・ 身体測定は、毎月測定結果を保護者に知らせる。
- ・ 内科検診・歯科検診・尿検査を年 2 回行う。
- ・ 感染症流行時には、学校医と情報交換を行い、必要に応じ指導助言を得る。

【職員】

- ・ 年 1 回全職員の健康診断を行う。
- ・ 給食関係者、0 才児保育の担当者は検便を毎月行う。
- ・ 給食関係者は、1 0 月から 3 月にかけてノロウイルス検査を毎月行う。

⑩ 栄養管理について

- ・ 栄養アセスメントによる献立構成（身長・体重の変化による）
- ・ 食育計画の作成・実践（収穫した野菜や地域の方からいただいた野菜を調理・食育についての紙芝居など）

⑪ 安全・災害対策について

- ・ 飲料水の貯蔵
- ・ 食料品の貯蔵
- ・ 緊急時連絡先カードの作成

- ・各クラスで災害用園児の衣服の保管（年２回入れ替え）

⑫ 事故の発生状況

大きな事故・怪我はなく、肘やひざのすり傷が、数件

顔の傷（ひっかきなど）数件

嘱託医を受診し、保護者に電話連絡をする。トラブルにはならなかった。

⑬ 地域交流について

- ・地域の方からタケノコや大根を掘らせてもらって、給食でいただき、食育活動に生かした。
- ・４年に１度の植木天満宮人神幸祭に、５才児が山車を造り、保護者と地域を曳いて参加して地域交流を深めた。
- ・植木校区の文化祭に参加して、小学生や多くの地域の方と交流を深めている。
- ・園行事開催にあたり、地域校区に参加を呼びかけた。
- ・地域の老人介護施設の依頼を受けて、お年寄りの方と触れ合い、とても喜んでいただいて交流を深めた。

⑭ 自己評価

- ・自己評価によって、日々の保育を振り返り、自らの保育を見つめ直すことで保育の質の向上を図ることを目的とし、よりよい育ちの環境を整え、保育の向上につなげていく。
- ・どの項目も自己分析をし、保育に対して取り組みや気づきを生かしていく姿勢が見られた。
- ・一人ひとりの子どもの発達や情緒をみて、保育を充実して深めていきたい。
- ・全職員で「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を行い、職員一人ひとりが自らの言動や関わりを見直し、子どもの最善の利益を考えた保育の質の向上につなげている。

事業報告の総括

- ・幼保連携型認定こども園の教育・保育要領に基づき、創造保育の理念を基に各年齢ごとのお話を通してその気になって遊び、「どんなことにもくじけない子ども」「思いやりのある子ども」「自主的で大らかにたくましい子ども」への成長を願い、感性豊かな子どもへの成長・発達を促すことに努めています。そのための話し合いや園内研修を重ね、園全体で、更に取り組んでいきたいと思ひます。

- ・気になる子について、同法人の公認心理士に相談をしたり、その子が通っている療育機関と連携を取り、クラス担任だけでなく全職員で情報共有しながら、一人ひとりの発達や特性に応じた支援に取り組んでいます。

- ・自然の中へ出かけ、季節や自然を感じ、その気になって楽しく遊べるように、「お散歩マップ」を作成し、危険個所や避難場所を職員間で共有し、安全な保育の実施に取り組んでいます。

- ・保護者支援では、日々の送迎時の対話やコドモンでの連絡を通して、信頼関係を大切にひて子育ての相談に対応し、必要に応じて関係機関と連携し、家庭支援を行っています。今後も保護者に寄り添ひ、支援の充実に努めています。

- ・教育・保育について、小学校や中学校との交流や情報共有を通して、教育機関との連携を深め、一貫した教育保育の充実に繋げるため、架け橋プログラムや中学生の職場体験学習を行い、今後も継続してひきます。

- ・地域交流では、4年に一度の植木天満宮神幸祭に、5才児が山車を作り、保護者と一緒に参加して地域文化に触れたり、校区文化祭に4・5才児が参加して、和やかな雰囲気の中で多くの方々と交流を深めることが出来ました。また地域の老人介護施設を慰問して、お年寄りの方に喜んでいただき、子ども達も貴重な体験をすることが出来ました。

- ・同法人の浄蓮寺保育園との5才児のキャンプや泥んこ遊び、プール遊び、3才児の合同保育など行ひ、交流が深まると共に保育の向上にもつながりました。

- ・地域の子育て支援の拠点として、地域の子育て家庭が安心して利用できる場所を提供して、親子の交流（各種園行事への参加等）や子育てに関する相談支援を行っています。今後も安心して子育てができる地域を支える園として取り組んでひきます。